

令和4年度の取組結果

令和5年8月1日

岡山県環境文化部環境管理課

1 はじめに

(1)事業の動機

各 都道府県 }
政令市 } 大気環境担当部(局)長 殿

環水大大発第 1803273 号
平成 30 年 3 月 27 日

環境省水・大気環境局

大気環境課長

微小粒子状物質 (PM_{2.5}) と野焼き行為との関連について (通知)

大気環境行政の推進につきましては、平素より御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。微小粒子状物質 (以下「PM_{2.5}」という。) の常時監視については、平成 28 年 9 月 26 日に改正した「大気汚染防止法第 22 条の規定に基づく大気汚染の状況の常時監視に関する事務の処理基準について (平成 13 年 5 月 21 日環管大第 177 号、環管自第 75 号)」に基づき、実施することとしています。

また、廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (昭和 45 年法律第 137 号) においては、農業を営むためにやむを得ないものとして行われる廃棄物の焼却等の一定の例外を除いて、野外での廃棄物の焼却 (野焼き) を禁止しています。

今般、環境省では、野焼きの実施状況に関するアンケートを実施し、PM_{2.5} と野焼き行為との関連性や野焼きを減らすための有効な取り組み等について、アンケート調査結果を別添 1 のとおり取りまとめましたので、参照の上、以下の点などについて留意下さい。

- 1) 煙を伴う稲わら焼きなどの野焼き行為によって、PM_{2.5} 質量濃度の上昇に、直接的に影響を与える場合があることを、関係行政部局や一般に周知下さい。なお、別添 2 に示す気象条件時は高濃度になりやすいので注意願います。
- 2) PM_{2.5} 質量濃度の測定に際して、野焼き等で発生した煙の影響による上昇と判断された場合の測定値の取扱いについては、一律に「野焼きのため欠測」と処理することなく、貴自治体において、統一的な視野に立った判定基準 (例えば、複数局で観測されるような広範囲の野焼きの場合は欠測としない等) を設けた上で、測定値を処理して下さい。
- 3) 別添 1 の P13「(2) 野焼きの防止に係る対策、取組等」に示されるように、稲わら等の有効利用の促進に関する様々な取組は、継続して野焼き行為を減らしていける取組であると考えられます。貴自治体において、参考にして下さい。

微小粒子状物質 (PM_{2.5}) と野焼き行為との関連について (通知)

環水大大発第 1803273 号 H30. 3.27

環境省水・大気環境局大気環境課長

ポイント

- **稲わらの野焼きが PM_{2.5} の濃度に影響**
- **他県の野焼きを減らす取組事例を紹介 (条例など)**

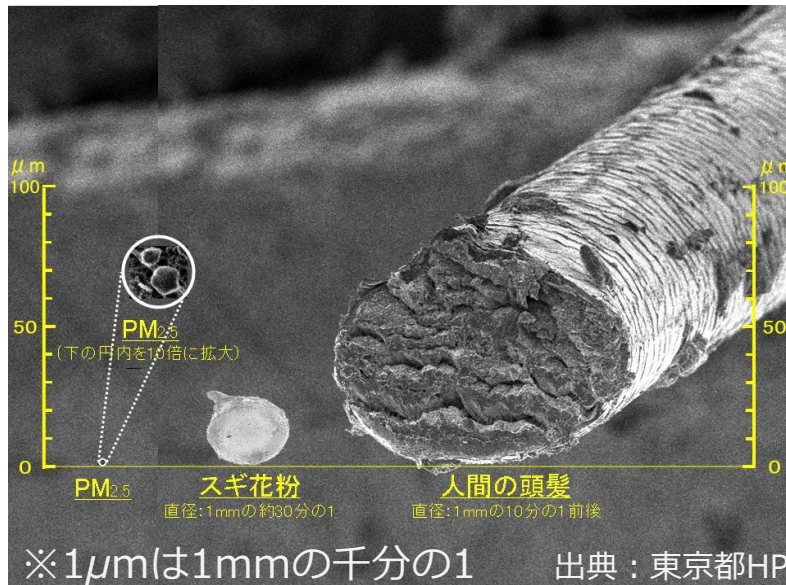


**達成率が低い本県で
対策の必要性**

1 はじめに (2) PM2.5とは

PM2.5 (微小粒子状物質)

- ・大気中に浮遊している $2.5\mu\text{m}$ 以下の小さな粒子
- ・髪の毛の1/30程度、肺の奥深くまで入りやすい
- ・呼吸器系や循環器系への影響が懸念
- ・燃烧等に伴う人為発生源の寄与率が高い

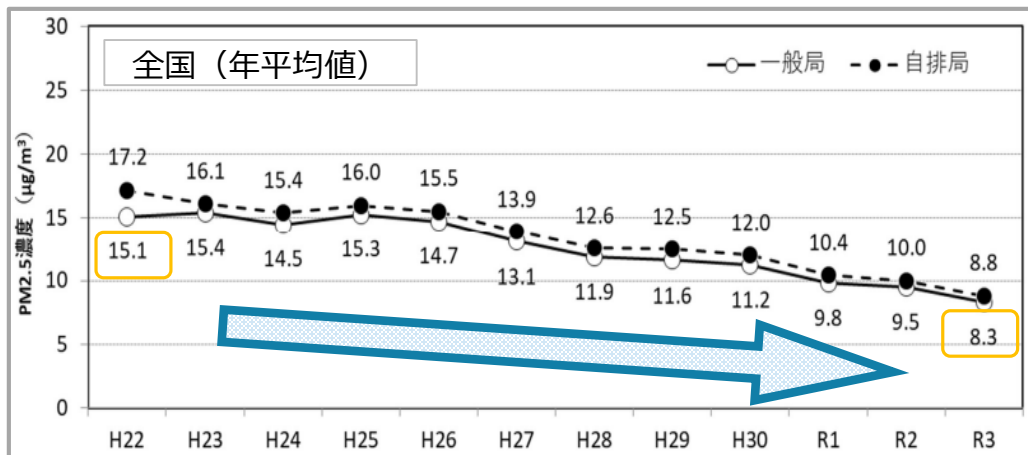


環境基準：1日平均値 $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
1年平均値 $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下

発生源

- ・工場・事業場の排ガス
 ➡ **施設からの排出規制**
- ・自動車・船舶等の排ガス
 ➡ **排ガス規制**
- ・その他（たき火、野焼き など）
 ➡ **未対策**
 (一律の規制は困難)





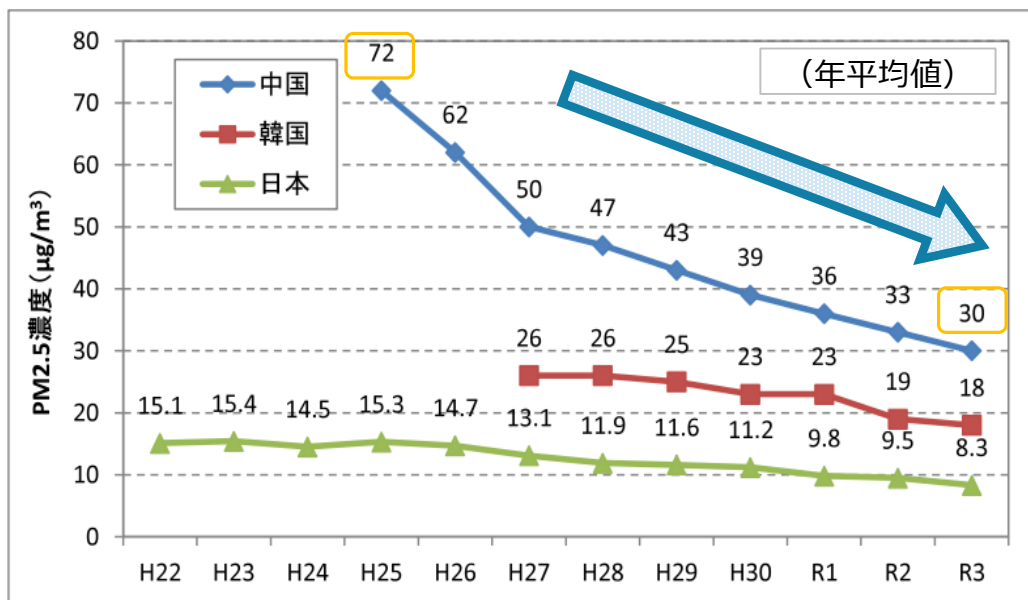
PM2.5濃度の推移



全国

➤ 緩やかな改善傾向

環境基準 (15μg/m³) クリア



海外

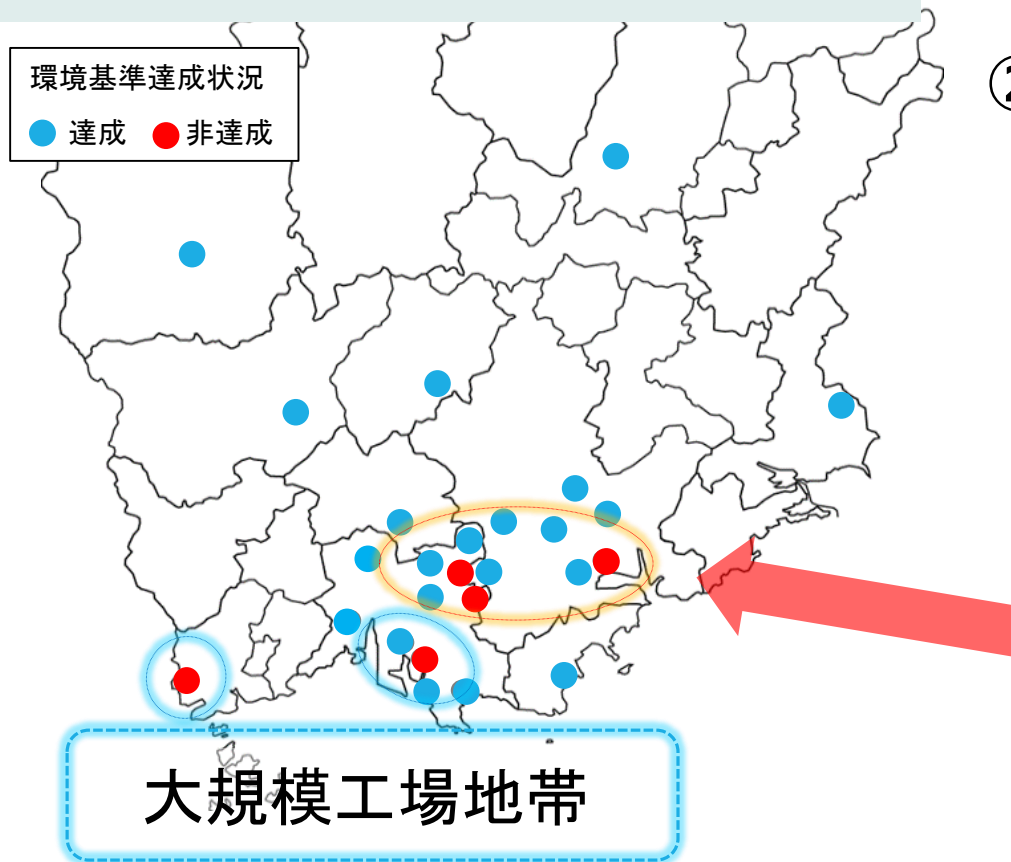
➤ 中国では大幅に改善

出典：令和3年度大気汚染の状況（環境省）

PM2.5環境基準達成状況

(令和元年度(事業開始前))

環境基準達成率は全国ワースト1位



① 水島地域などに
大規模な工場地帯あり

② 児島湾干拓地周辺には
広大な農業地帯あり
(水稲、麦作など)

大規模工場地帯以外の
農業地域・住居地域
でも**非達成**の地点あり

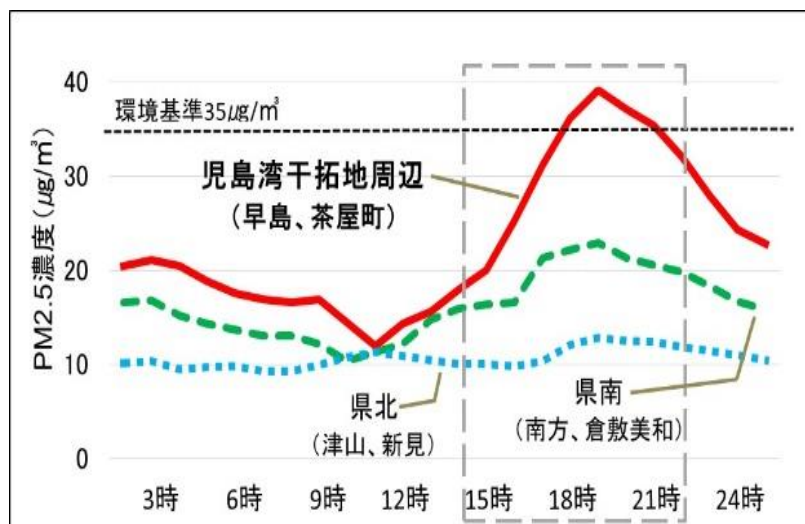
2 事業の方向性

(1)現状・問題点

なぜ、農業地域等で環境基準を達成していない？

11月のPM2.5濃度 夕方～夜半に上昇

11月の時間別 PM2.5 濃度(H29-R1 平均)



秋期の稲刈り後に
稲わらを焼却処理
(児島湾干拓地周辺では比較的多い)



**稲わらの野焼きが
行われる時間帯と一致**

2 事業の方向性 (2)検討

稲わらの野焼きを減らすには？

方法その1 条例で規制

農家ごとに**野焼きの理由**は様々
(やむをえず野焼きをしている場合もある)



**規制による
方法は適さない**

方法その2 規制以外の方法 (啓発など)

- ・野焼き以外の手法を啓発
- ・取組可能な農家から実践
- ・実情に応じ柔軟に対応



稲わらの有効利用
(すき込み、飼料化等)

2 事業の方向性 (3)方向性 (1/2)

稲わらの野焼きを減らすための具体策

1. 取組の方向

稲わらのすき込み

その他の有効利用方法としては、

- ・ 堆肥化（圃場から持ち出し）
- ・ 飼料化（畜産業等）
- ・ 果樹等の敷きわら

などがあるが、比較的取り組みやすい



わらを**土づくり**に活用

2. ターゲット

農家の声（野焼きをする理由）

- ✓ 野焼きをしないと**成り立たない**
（稲刈りと麦の播種期が近接し、作業工程上すき込みの余裕がない）
- ✓ **雑草・害虫対策**のため
- ✓ **習慣的**に、なんとなく



取組が**可能な農家**から

稲わらの野焼きを減らすための具体策

3. 取組の内容

農家の声 (すき込みをしない理由)

- ✓ すき込んだ稲わらの分解が遅いことが心配
- ✓ **なんとなく**野焼きしている
(すき込みへの転換のきっかけ次第?)



**稲わら分解促進剤
の購入補助**

4. 進め方

- ✓ 農家への補助金
- ✓ 各種啓発・広報など

環境部局だけで
農業者への
周知や啓発は**不可能**



**農業関係の団体・
農政部局と連携**

2 事業の方向性 (4)まとめ

- ✓ 稲わらの野焼きは、PM2.5の原因の一つ
- ✓ **規制以外の手法**で野焼きを減らし、稲わらの有効利用を推進
- ✓ 農家への**補助**と**啓発**を実施
- ✓ 推進会議で、**環境部局**と**農業関係者**が連携



稲わらの有効利用を拡大

PM2.5濃度の低減

環境基準の達成
(R4~R6で85%目標)

住民からさらに

応援してもらえる**農業へ!**



3 令和4年度の取組結果

(1)一般啓発

新聞広告（令和4年10月29日 山陽新聞朝刊） (半5段カラー)

水稲栽培者のみなさんへ
稲わらを土づくりに有効利用しましょう

野焼きはPM2.5の濃度上昇の原因の一つです。
稲わら等はすき込むなどの有効利用に御協力ください。

大気汚染物質 PM2.5って何？
大気中に漂う2.5μm(髪の毛の約1/30の太さ)以下の小さな粒子のことで、肺の奥深くまで入りやすく、呼吸器系や循環器系への影響が心配されています。

岡山県の状況は？
県内のPM2.5の環境基準達成率は、令和3年度に初めて100%となりました。ただし、平成29年から令和2年度は38～81%で全国ワースト1位でした。

引き続き、みんなで協力して「晴れの国おかやま」らしい青空を守っていきましょう。

お問合せ 岡山県環境文化部環境管理課
岡山市北区内山下2-4-6 TEL.086-226-7302
晴れの国ブルースカイ事業 検索
※この事業は岡山県産業廃棄物処理税を活用しています。

ラジオ放送

DJ生CM（60秒）

OFM岡山

・11/7（月）8:33

岡山県からのお知らせです。
PM2.5を知っていますか。PM2.5は2.5マイクロメートル以下のとても小さな粒子のことで、肺の奥深くまで入りやすく、呼吸器系などへの影響が心配されており、大気汚染物質として環境基準も定められています。PM2.5の濃度の上昇は、工場や自動車の排ガスだけでなく、稲わらや刈草などの野焼きも原因の一つとされており、岡山県では、稲わらなどの野焼きの抑制を呼びかけています。
稲わらを焼かずにすき込めば、土づくりにも役立ちますので、稲わらの有効利用にご協力ください。
岡山県のPM2.5の環境基準達成率は、令和3年度に初めて100%となりましたが、今後も皆さまの取り組みで、「晴れの国おかやま」らしい青空を守っていきましょう。
岡山県からのお知らせでした。

スポットCM（20秒）

ORSKラジオ

- ・10/24（月）8:20
- ・10/25（火）7:24
- ・10/27（木）7:47
- ・10/29（土）8:45
- ・10/31（月）7:07

OFM岡山

- ・10/24（月）7:30
- ・10/25（火）8:07
- ・10/27（木）7:20
- ・10/28（金）7:30
- ・10/31（月）7:40

岡山県では、「晴れの国おかやま」らしい青空の保全を目指し、稲わらなどの野焼きの抑制を呼びかけています。
野焼きは、健康への影響が心配されている、PM2.5の原因のひとつです。稲わらを焼かずにすき込めば、土づくりにも役立ちますので、皆様のご協力をお願いします。

テレビ広報

笑味ちゃん天気予報

農業関係の話題をリポートするお天気情報番組「笑味ちゃん天気予報」で広報

[放送] RSK山陽放送

令和4年10月27日（木）18:50～19:00

[内容] 県職員と稲わらのすき込みを実施している農家それぞれがインタビューを受ける形式で、稲わらの有効利用を啓発

3 令和4年度の取組結果

(2)重点啓発

チラシ（各JA広報誌（令和4年11月号）折込）

(表)

稲作をしている みなさまへ

もったいない!

**稲わらは燃やさず、
すき込むのがおトク!**

広がっています!稲わらで土づくり



岡山県

(裏)

おすすめする理由

稲わらを燃やさず、
すき込み続けると**肥沃な土**になります。

※わらのすき込みで土壌有機物(窒素)の比率が2割になった調査結果があります。

県南では約**9割**のほ場で、
すき込み等の**有効利用**がされています。

実施者から多くあがった声

今後もすき込みを続けたい	火を使わないので安全
煙の心配がない	計画的に実施しやすい

※岡山県環境管理課調べ

すき込みのコツ

コンバインで細断 稲わらが集まっている部分は一掃に散らす。	早めに浅く耕うん 石灰窒素等を散布し、年内を目安に浅く(10cm程度)すき込むと、分解が早く進む。
---	---

お問い合わせ先

岡山県環境管理課 ☎086-226-7302

土づくりの技術に関するお問い合わせ先

岡山市の方	備前広域農業普及指導センター ☎086-233-9848
倉敷市、早島町の方	備南広域農業普及指導センター ☎086-434-7048

※このチラシは岡山県環境部環境文化課が活用して作成しています。

岡山県

2022.10月

3 令和4年度の取組結果

(2)重点啓発

講習会（令和4年9月下旬～12月上旬）

JA主催の講習会において
右のチラシを配布させていただき
稲わらのすき込みを呼び掛け

[実施会場] 全13カ所

[参加者数] 延べ233人



啓発用タオル

おいしいお米は土づくりから

稲わらは焼かずに
すき込んで有効利用

野焼きは **PM2.5** の
原因の一つです

PM2.5って何？
大気中に漂う2.5μm(髪の毛の約1/30の太さ)以下の小さな粒子のことで、肺の奥深くまで入りやすく、呼吸器系や循環器系への影響が心配されています。

髪の毛の太さ約70μm

岡山県のPM2.5の環境基準達成率
平成29～令和2年度:38～81%(全国ワースト1位)
令和3年度 :100%(初めて)
今後も「晴れの国おかやま」らしい青空を一層に守っていきましょう。

【お問合せ】
岡山県環境文化部長官環境管理課
TEL:086-226-7302
晴れの国ブルースカイ事業 検査

※この事業は岡山県環境文化部長官環境管理課を活用しています。

稲わらすき込み啓発用の動画の制作

すき込みのメリットや作業方法を紹介した動画を制作



今後の啓発（農家向けの講習会等）で活用

※動画公開HP：<https://www.pref.okayama.jp/page/840687.html>



稲わら分解促進剤の購入を支援（補助）

補助内容

[対象者] 岡山市南区、早島町、
倉敷市茶屋町周辺地域
内の圃場に水稻の作付
を行った農家

R4に拡充

[補助率] 購入費の1/2又は補助
対象土地の面積1㎡あた
り2.0円（上限）

[対象品目] 石灰窒素など

[申請期間] 令和4年9月～12月

[窓口] 県庁 環境管理課

実績

[申請数] 213件

（倉敷市茶屋町周辺地域を除くと
171件（R3は150件））

[特徴] 申請件数は増加
一方で、R2,R3に申請が
あった222名のうち102
名(45%)からは申請なし



すき込みが定着していない可能性 (有)

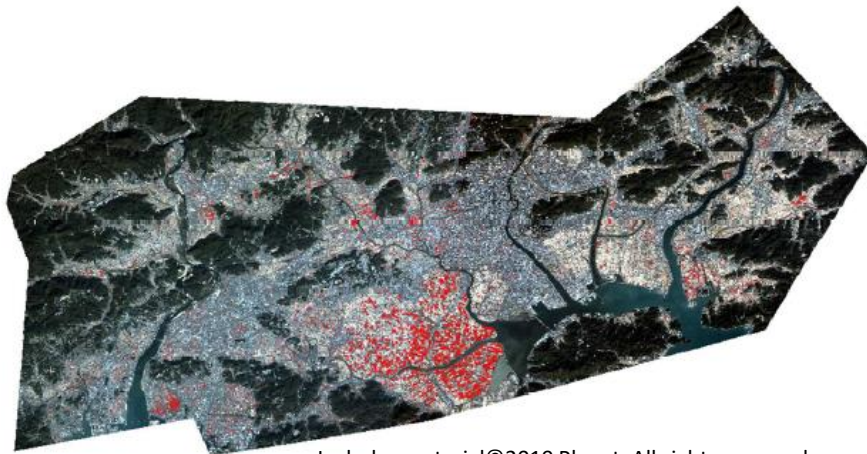
※ただし、申請なし=焼却処理ではない

3 令和4年度の取組結果

(4)野焼き率調査

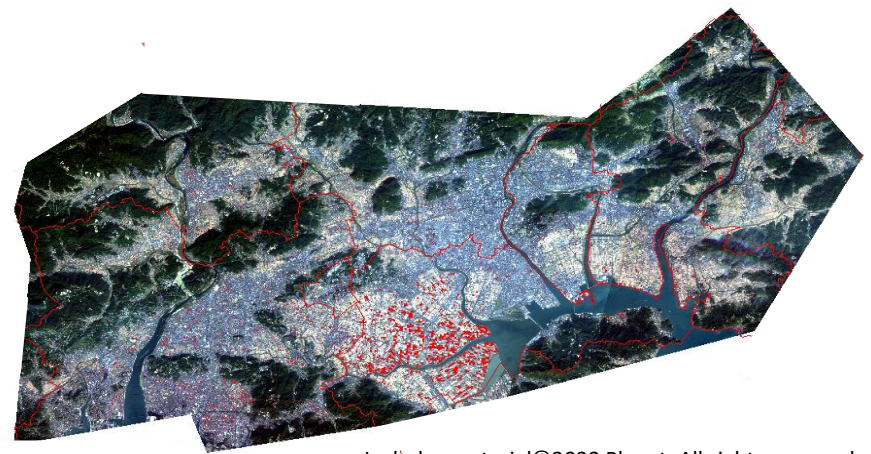
衛星画像解析で県南の稲わらの野焼き率を調査

令和元年度(R元.11.13撮影)



Includes material©2019 Planet. All rights reserved.
「筆ポリゴンデータ」(農林水産省)を加工して作成
「平成27年国勢調査町丁・字等別境界データ」(総務省)を加工して作成

令和4年度(R4.11.10,12撮影)



Includes material©2022 Planet. All rights reserved.
「筆ポリゴンデータ」(農林水産省)を加工して作成
「平成27年国勢調査町丁・字等別境界データ」(総務省)を加工して作成



赤色の野焼き圃場部分が明らかに減少している

3 令和4年度の取組結果

(4)野焼き率調査

地域別の野焼き率調査結果

地域	事業	水田面積 (ha)	事業開始前	事業開始後			
			R1	R2	R3	R4	
			野焼き率 (%)	野焼き率 (%)	野焼き率 (%)	野焼き率 (%)	
① 岡山市南区・早島町	重点啓発 一般啓発 補助 (R2~)	4,543	30.8	15.5	15.7	17.3	
② 倉敷市茶屋町周辺地域	重点啓発 一般啓発 補助 (R4~)	1,111	12.7	5.6	10.9	6.4	
③ 岡山市 (南区除く) 倉敷市 (②を除く)	重点啓発 一般啓発	8,751	6.4	4.9	6.7	3.3	
④ 総社市・瀬戸内市	一般啓発	3,631	4.4	2.9	4.0	1.4	
全体		18,037	12.5	7.2	8.7	6.6	



稲わらの有効利用促進につながる情報の収集

①稲わらすき込みによる麦の生育への影響を情報収集

稲わら野焼き圃場とすき込み圃場での麦の生育状況を確認



収集した情報は、今後の啓発に活用を予定

※詳細な結果については、議題「3 稲わら等の有効利用に向けた取組の紹介について」で説明



②農家へのヒアリング等

定期的な訪問・ヒアリングを実施し、情報収集



今後の事業に活用

4 岡山県のPM2.5の環境基準達成状況

PM2.5環境基準達成状況（3年加重平均）

改善傾向

年度	事業開始前	事業開始後		目標値
	R1 (H29~R1)	R2 (H30~R2)	R3 (R1~R3)	R6 (R4~R6)
環境基準 達成率 (3年加重平均)	55.7%	64.9%	83.8%	85.0%

※ 環境基準達成率(%) = 環境基準達成地点数 / 有効測定地点数

【参考：PM2.5環境基準達成状況（単年）】

H29～R2：環境基準達成率は全国ワースト1位

R3：初めて全測定地点で環境基準達成（環境基準達成率100%）